

大手町病院ふれあい通信

2018
11月
Vol.77

健やかネット

SUKOYAKA NET

健和会大手町病院の理念

だれもが安心できる良い医療と福祉を患者さん、地域の皆さんとともに力を合わせて実現します。

その為に、私たちは、北九州地域の医療機関をはじめとするあらゆる機関・団体との連携を強化し、地域の医療・福祉のネットワーク作りに貢献します。

CONTENTS

医師を目指す 高校生応援企画	2
ハロー！ドクター (医療法人 渋江医院)	4
職場紹介 (5階病棟：産婦人科病棟)	5
聴診記	6
友の会通信	7



ISO 9001
ISO 14001
BUREAU VERITAS
Certification



健和会大手町病院

医師を目指す 高校生応援企画

健和会大手町病院では、医師を目指す高校生を応援する企画を開催しています。この企画を通して、より多くの高校生みなさんに、医師へのあこがれや興味を感じていただき、大学医学部へと進学して、明日を担う医師になっていただきたいと思います。



高校生一日医療体験

2018年8月6・7日、医師を目指す高校生を対象に、高校生一日医療体験を行い、2日間で合計17名が参加しました。午前中にオリエンテーションで大手町病院についての紹介を行い、ERの見学と聴診器を使った医療体験を行いました。午後からは自動分析科、病理科、生理機能検査科、放射線科から選択した部署で見学を行いました。

昼食会では医師、看護師、医学生と食事を取りながら交流を行いました。受験勉強の仕方や病院での仕事についてなど、大手町病院で働いている医師の生の声を聞きました。

参加した高校生からは、「医師や看護師という職業がぼんやりしていましたが、将来の職業としてははっきりしました」「様々な部署を見学したが、すべての部署が協力し合わないと患者さんの命を助けられない、重い使命感を持って仕事をしている人が多いとわかりました」などの感想が出され、医師の仕事について興味を深めていたようです。

今回の企画を通して高校生たちが医師を目指すモチベーションのアップにつながったように感じます。今後も高校生や医学生を対象とした企画を行い、良い関係性を築いていきたいと思えます。



医師、看護師、医学生と交流を行った昼食会

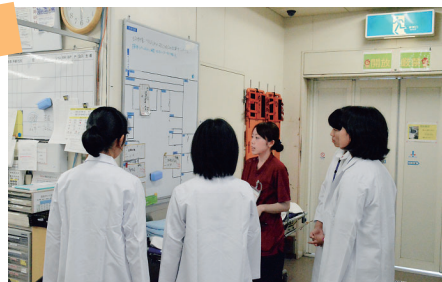
病理科の見学



聴診器を使った医療体験



ER見学



福岡県立小倉高等学校

スーパーサイエンスハイスクール(SSH)体験学習

in 健和会大手町病院



》 52名の高校生が参加

SSH（スーパーサイエンスハイスクール）とは文部科学省が科学技術や理科・数学教育を重点的に行う高校を指定する制度のことです。当院はその一環として学習会の受入れをしており、今年で4回目となりました。7月10日に“災害医療”と“高齢者医療”をテーマに事前学習と体験学習をあわせて開催し、52名が参加しました（昨年26名参加）。

高齢化が進んでいく北九州市、近年九州でも大きな被害があった地震や豪雨災害など高校生の関心が高い問題について学びが深まりました。講義ごとに代表生徒から謝辞が送られ、感想では「先日、西日本で大雨が降り、自分の近いところで大きな被害がたくさん出たので、災害医療の話が強く残りました」「多くの人に関わり合い、命を救う“医療”はやっぱりすごいなと改めて感じました」「災害・救急・地域医療について詳しく学ぶことができたので医療というものについて広い視野で見ることができるようになりました。自分がどんな医療従事者になりたいかももう一回良く考えたいと思いました」など医療の仕事について関心を持ってもらえました。

北九州地域の中の病院として、安心してらせる地域についてともに学び考えることができました。高校生が医療への関心を持ち、北九州の医療・福祉を担う人材の育成を進める企画となりました。



「災害医療」の講義を行う古城副院長



「北九州市における救急医療」の講義を行う西中総院長



「トリアージについて」の講義を行う山本医師

手を結んで地域の医療ネットワークづくりを推進しています

Hello! cooperative Clinic Doctor

健和会大手町病院にご協力いただいている医院を訪問

ハロー! ドクター 76

内科・小児科・皮膚科・神経内科

医療法人 渋江医院

〒800-0204 北九州市小倉南区中吉田3-20-1
TEL・FAX 093-471-7146



「プライマリーな診療を方針に」と話す院長の渋江有恒先生 しおえありつね

医療の方針を教えてください

当院は昭和45年に私の父が開業したクリニックです。以来、地域の方々と長いお付き合いをさせていただいてきました。

最近では近隣に新しい住宅地ができてきており、若い世代の方々が増えてきました。ですから赤ちゃんから高齢者まで全ての世代に対し、どんな症状でもプライマリーに診ることを方針として、日々の診療にあたっています。

医院の特徴を教えてください

当院は私と姉の医師2名体制で、私が内科、小児科、神経内科、姉が皮膚科を診ています。内科と皮膚科を標榜している診療所は少なく、患者さんにとっては、ひとつの診療所で両方診ることができる利便性があります。

神経内科では、頭の前から足の指の先まで診る分野と言われるように、全身の状態をスクリーニングしながら、内科的な疾患との関連性を診て、最適な治療を行うようにしています。新規の患者さんや、神経疾患が疑われる患者さんについては、15分ぐらいの間診を中心とした簡単な検査を行いながら、神経疾患の正確な診断をしています。

健和会大手町病院との連携について

立地柄、頻繁ではありませんが、急患の患者さんをお願いすることがあり、その点では大変助かっています。当院としても神経内科系の患者さんの受け入れでお役に立てればと思っています。

趣味や休日の過ごし方は？

音楽ライブや演劇を見に行くのが好きです。音楽はロックからクラシックまでオールジャンルです。今度東京にポールマッカートニーを見に行きますし、福岡を中心に活動するアイドルグループの応援にもよく行きます。

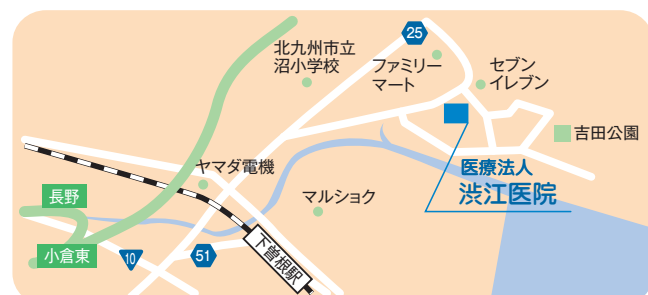
演劇は有名人の出る劇から、地元の役者さんが出る劇まで様々で、私が好きなことを周りに知られているものですから、いろんな演劇のお誘いがあります(笑)。

読者のみなさんにひとこと

赤ちゃんから高齢者まで、すべての世代に対応しております。ご自身が病気かどうかわからない方は、まずは受診いただければ、お悩みが解消できるようお手伝いさせていただきます。よろしくお祈りします。

神経内科・小児科・内科全般を診療されており、ご家族で受診できる地域のかかりつけ医です。取材の際は、病気や検査の内容を分かりやすく説明して下さりありがとうございました。ご趣味の芸術鑑賞のお話しもはずみ、とても楽しい時間でした。今後とも宜しくお祈り致します。

インタビューー：石田かおる（医療連携部）

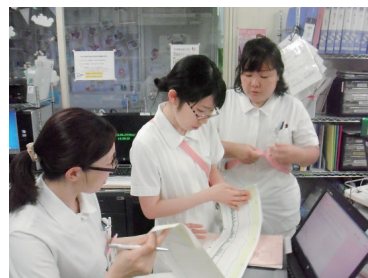


〒800-0204 北九州市小倉南区中吉田3-20-1 TEL 093-471-7146

女性に優しい病棟でありたい 5階病棟：産婦人科病棟



佐々木俊雄 医師（前列中央）
今井 彰子 医師（後列中央）
妹尾 悠 医師（後列右）



5階病棟は産婦人科を中心とした外科・内科を含む女性専用病棟です。医師3名、看護師9名、助産師14名、担当事務で5階病棟と産婦人科外来を担当しています。

5階病棟には出産をむかえる方、子宮筋腫・卵巣腫瘍など婦人科疾患の患者さんを主に受け入れています。最近では無痛分娩を希望される妊婦の方も多く、里帰り分娩で当院を選んで頂く妊婦も増えています。



▲ナースステーションの様子

■ お産の不安を和らげるために

私達は、常に産婦により添い、お産に対する不安を和らげるように努力しています。また、出産後も丁寧に育児指導を行っており、「授乳の時に傍で教えてくれるので心強いです」という言葉を良く頂きます。

お産後は啓蟄分娩の場合5日間で退院されるので、退院後に困らないように支援していくことが私達の役割だと思っています。

昨年より本格的におっぱい外来（月曜日・木曜日午後）を開始しました。乳房トラブル以外にも母乳育児継続のためのお手伝いをさせて頂いています。



■ 親しまれる病棟へ

私達は生命の誕生という貴重な場面に立ち会う事ができ、毎日新生児のぬくもりを感じ、癒されながら仕事ができる環境をより良いものにしようと日々頑張っています。

「お大事にされてください」ではなく「お気を付けて」と声をかけ、「また、大手町病院で産みたい」という言葉がいただけるよう、笑顔あふれる明るい病棟作りを心掛けています。





第1回 消防訓練

■開催日 2018年8月29日(水)

2018年度の第1回消防訓練を職員参加35名で実施しました。

まず、北九州市における火災概要をはじめ、院内消防設備の機能説明、DVD（いのちを守る福祉施設火災の初期対応）による学習を行いました。その後、火災発生時に誰でも初期消火ができるよう消火器、屋内消火栓の取扱訓練を実施しました。

最後に、設備課長より当院で実際に火災が発生した実例をあげ「いつ、どこで火災が発生するかわからないため、常日頃から防火意識に努める事、また万一に備え職員が組織的に消火活動を行うことが重要である」とのまとめを受けました。



2018年度 健和会大手町病院CPCRセミナー開催

■開催日 2018年8月30日(木)

場 所／ホテル アルモニーサンク

参加者数／118名

- ①消防局関係者：60名
- ②他病院関係者：1名
- ③大手町病院職員：57名



今回のCPCRセミナーでは、2つの症例と教育講演が行われました。1症例目は市販薬の過剰服薬による中毒症例の気をつけるべき点について、浅野救急隊の尾石救命士から現場での救急活動の視点、当院救急科医の山本医師より、搬入後の病院側の視点で報告が行われました。

2症例目では、脳出血を疑っての救急搬送事例について、三谷救急隊の片峰救命士と当院脳外科医の篠山医師から報告が行われました。

教育講演では、当院の消化器内科主任部長の佐竹医師より「当院の消化器内科について～内視鏡治療を中心に」と題し、佐竹医師の紹介及び今年度より土日祝日を除く24時間内視鏡対応が出来る体制が整ったことについての報告が行われました。

全体を通じて、質疑・応答も活発に行われ、現状の課題、今後の対応について改めて認識することができたセミナーとなりました。

スキマ時間
を使う

1分で出来る かんたん体操

20 膝の痛みを解消する運動



① 仰向けの姿勢になり、片膝を曲げます。



② 足の反対の足を伸ばしたまま上げます。曲げた足と同じ角度になるようにします。そして、ゆっくりと下ろします。この動きを繰り返します。

目安は1日20回（出来る回数で大丈夫です）
筋肉がつけば、回数を増やしていきましょう！

POINT

- ただ足を持ち上げただけでは、大腿四頭筋に負荷がかからないので、出来るだけ、踵が遠くを通るイメージで、足を押し出しながらやりましょう。
- 太ももの前側がつかくなると、運動の効果です。
- 足の高さが低い方が、負担は大きいです。余裕があれば低くしましょう。



だれもが健康で安心して
住みつけられる街づくりをめざして

共同組織全国交流集会に参加して

9月9日(日)～10日(月)、横浜市で開催された共同組織全国交流集会に参加しました。北九州健康友の会からは25名の参加でした。全体での参加者は2400名との報告がありました。

全体集会での基調報告は「ヘイムス・アーロン」というワシントン大学院生でした。民医連の共同組織に興味を持ち、自ら班会などの活動に参加してきたという経歴の持ち主です。彼は共同組織の活動を自らの目線で研究し、わかりやすくしっかりと日本語で話してくれました。全体集会で私が印象に残ったのは「沖縄からの特別発言」と奨学医学生の発言でした。在学中から共同組織の素晴らしさを体験し、将来医者になってからもこの道を歩もうと決心されている姿は素晴らしく、その生き方に感動しました。「北九州でもこういう奨学生が増えてほしいな」との期待を膨らせたものでした。

2日目は6つの分科会と特別分科会がありましたが、新小倉支部が「ふれあい広場」の開設準備をしている関係で、私は第3分科会の「たまり場の部」に参加しました。第3分科会だけでも5会場に分かれるほど盛況でした。

私の参加した分科会では10名の報告と質疑・討論が行われましたが、開設までの苦労やたまり場の活用によって地元・地域との結びつきが強まり、広がっていった様子が楽しそうに報告されました。報告を聞きながら、私たちの『ふれあい広場』への夢も広がりました。

(新小倉支部 園田敏夫)



診療受付／午前…8:40～11:30 午後…13:30～16:00

(初診の受付は午前8:40～11:00まで)

診療時間／午前…9:00～12:00 午後…14:00～17:00

休診日／日曜・祝日、第2・4土曜、年末年始(12月30日～1月3日)

外来担当医師(11月予定)

		月	火	水	木	金	土
内科	午前	是永秀樹(糖尿)	内村作子(内科) (3週除く)	是永秀樹(糖尿)	下園孝治(再診)	柴田裕介(初診)	是永秀樹(糖尿)
		下園孝治(再診)	田場正直(循環器)	井上三保子(高血圧)	井上三保子(高血圧)	山口征啓(内科)	田場正直(初診)
		金澤剛志(初診)	中尾英太郎(内科)	原田浩介(初診)	中尾英太郎(初診) (不定期)	名和田彩(膠原病) (10:00～)	金澤剛志(初診)
		市川隆裕(初診) (10:30～)	下園孝治(初診)	渡辺周(初診)	堺孝明(初診) (10:30～)	築島直紀(循環器) ※	山下哲史(初診)
		近藤克洋(循環器)	近藤克洋(循環器)	曾我雄吾(初診)	下園孝治(初診)		
		柴田裕介(初診)	堺孝明(動脈硬化)	佐竹真明(消化器)	内村作子(初診)		
外科	午前	松山 晋平 松山 純子	三宅 亮 黒木 寿一	輪 番 古城 都	三宅 亮	松山 晋平	①三宅亮 ③古城都 ⑤松山純
整形外科	午前	家入 雄太 酒井 和裕(手外科) 馬渡 玲子	古川 雄樹(手外科) 瀧崎 将弘(脊椎外科) 渡邊 利絵	永吉 信介 吉野興一郎(リウマチ) 原口 和史(関節外科) 鳴戸 聡雄	酒井 和裕 (手外科・スポーツ)	古川 雄樹(手外科) 瀧崎 将弘(脊椎外科) 原口 和史(関節外科)	輪 番
脳神経科	午前	岡崎 光希	篠山 瑞也		末廣 栄一 (頭部外傷専門外来)	奥 高行	篠山 瑞也
産婦人科	午前	佐々木俊雄 今井 彰子 妹尾 悠	佐々木俊雄 今井 彰子	佐々木俊雄 今井 彰子 妹尾 悠	佐々木俊雄 今井 彰子	佐々木俊雄 今井 彰子 妹尾 悠	輪 番
耳鼻科	午前	土生 秀明 奥 竜太	輪 番	土生 秀明 奥 竜太	奥 竜太	土生 秀明	輪 番
皮膚科	午前	山本 淳子		山本 淳子	山本 淳子	山本 淳子	輪 番
形成外科	午前	増田 大介	多田 英行	増田 大介		多田 英行	輪 番
泌尿器科	午前	栗栖 弘明	栗栖 弘明	栗栖 弘明	池田 英夫	池田 英夫	岡留 綾
眼科	午前			要相談	要相談(1・3週)		
小児科	午前	後山 和彦	後山 和彦	水野なずな	後山 和彦	後山 和彦	後山 和彦
	午後	後山 和彦	後山 和彦		後山 和彦	後山 和彦	

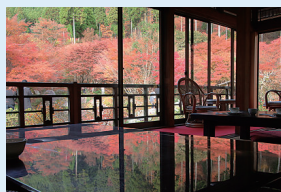
特別診療 (予約制)	午 前	救急科	西中 徳治(月曜)
		感染症科	水野なずな(木曜10:00～12:00)
		感染症科	海外渡航・ワクチン 矢坂謙一郎(金曜9:30～12:00)
		感染症科	海外渡航・ワクチン(月曜・火曜9:30～11:00)
		感染症科	海外渡航・ワクチン(土曜/休診日除く)
	午 後	高血圧	井上三保子(月曜)
		脳神経外科	脳動脈瘤専門(木曜/月1回) 鈴木 倫保(山口大学 脳神経外科 教授)
		脳神経外科	脊髄・脊椎・末梢神経専門(第3木曜) 五島 久陽(山口大学 脳神経外科)
		脳神経外科	頭痛専門(水曜) 米田 浩
		脳神経外科	パーキンソン・てんかん・痛み専門(月曜・土曜/不定期) 井本 浩哉(山口大学 脳神経外科)
		脳神経外科	小児脳神経外科専門(月1回/不定期) 野村 真宏(山口大学 脳神経外科)
		労働衛生	田村 昭彦(月曜)
		病理診断	松木 康真(水曜・金曜)
		感染症科	海外渡航・ワクチン(水曜/14:30～16:00)
		整形外科・漢方	鳴戸 聡雄(火曜・水曜・木曜/14:00～16:00)
整形外科	原口 和史(金曜)		
呼吸器内科	内村 圭吾(火曜) 13:00～16:00		
呼吸器内科	城戸 貴志(金曜) 13:00～16:00		

ご注意ください

- 第2・第4土曜日は休診になります。
- 午後の内科診療は、予約の方を対象とした専門外来のみです。
- 内科午前の※印の箇所は初診及び紹介の方の診察は行っていません。
- 診療体制が変更される場合がありますので、詳細はお問い合わせください。
- 水曜の耳鼻科は検査のため11時以降1時間程度中断することがあります。

表紙の写真

紅葉のリフレクション



佐賀県唐津市の環境芸術の森での一枚です。この反射は漆の机によるもので、みる角度によって様々な風景を見せてくれます。この森は亡くなられた息子さんのために思い植樹を始めたそうです。とても穏やかになれる空間で、みなさまもぜひ一度見てみて下さい。

By : specodies

● 広報誌に関するご意見・ご要望は…

公益財団法人 健和会

健和会大手町病院 広報委員会

〒803-8543 北九州市小倉北区大手町 15-1
 TEL 093-592-5511 (代) FAX 093-592-5966
 E-mail renkei@kenwakai.gr.jp
 http://www.kenwakai.gr.jp/